



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月5日
東・名

上場会社名 株式会社ダイセキ 上場取引所
 コード番号 9793 URL <https://www.daiseki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柱 秀貴
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理本部長 (氏名) 片瀬 秀樹 (TEL) 052 (611) 6322
 四半期報告書提出予定日 2022年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	43,420	12.1	10,103	31.5	10,206	30.0	6,409	31.3
2021年2月期第3四半期	38,704	△5.9	7,681	△10.7	7,848	△10.0	4,879	△12.7

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 7,210百万円(37.6%) 2021年2月期第3四半期 5,237百万円(△13.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	125.09	—
2021年2月期第3四半期	95.00	—

(注) 当社は2021年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2021年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	97,786	81,360	75.6
2021年2月期	95,756	80,717	77.2

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 73,979百万円 2021年2月期 73,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2022年2月期	—	28.00	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	32.00	60.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 配当予想の修正については、本日(2022年1月5日)公表いたしました「2022年2月期(第64期)配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 当社は2021年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,600	9.8	12,600	23.0	12,800	22.4	8,200	25.7	160.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年2月期3Q	51,000,000株	2021年2月期	51,600,000株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	431,135株	2021年2月期	232,026株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年2月期3Q	51,233,426株	2021年2月期3Q	51,353,737株

(注) 2021年9月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で、株式分割を行いました。2021年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中で発出された政府による緊急事態宣言や、広い範囲で断続的に適用されたまん延防止等重点措置が、経済活動に対して大きな制約となりました。しかしながら、新型コロナウイルスワクチン接種が世界的に進んだこと等により新規感染者が減少傾向となったため、9月末には緊急事態宣言が解除され、徐々に規制が緩和されるなど、経済にも明るい兆しがみられるようになりました。半面、新たな変異株の発生により世界的に先行き不透明な状況は続いており、さらには、回復傾向を示していた我が国鉱工業生産も、世界的な半導体不足やサプライチェーンの混乱の影響を受け、8月以降は低下傾向を示しました。

こうした経済情勢下、当社グループの主力事業である工場廃液を中心とした産業廃棄物の処理業は、国内鉱工業生産の回復とともに受注量・工場稼働率は昨年夏より上昇傾向となりましたが、8月以降は国内鉱工業生産の下落の影響を受け、受注量の増加ペースは減速することとなりました。このような事業環境ではありましたが、世界的にCO₂削減の流れが本格化する中、当社のリサイクル中心の処理方法やリサイクル燃料に対する評価はさらに高まってまいりました。こうした背景を受け、中長期的な成長に向けた設備投資に着手し、また営業活動においても、新型コロナウイルスによる制約が緩和され、積極的な営業展開が可能となったことにより、増収増益を確保し、利益面では第3四半期として過去最高益を更新いたしました。

株式会社ダイセキ環境ソリューションが手掛ける土壌汚染処理関連事業は、引続き土壌汚染処理市場が低迷したため、単価の低迷が続きました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響がほぼ解消されたことにより、営業活動を活発化することができたため、大型インフラ整備関連事業の獲得や同社の強みを生かしたコンサルティング営業の展開を行い、同業他社との差別化による利益率の改善を進めることにより、増収増益を確保いたしました。

株式会社ダイセキMC Rが手掛ける鉛リサイクル事業は、ほぼ100%の稼働状況、ならびに鉛相場の高止まりにより、採算は大きく改善し、増収増益を確保いたしました。

また、システム機工株式会社が手掛ける大型タンク等の洗浄事業は、引続きほぼ100%の稼働状況が続いており、増収増益を確保いたしました。また、今後の事業拡大のために、人材確保ならびに教育を強化することにより、次期以降の事業拡大の準備を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高43,420百万円(前年同四半期比12.1%増)、営業利益10,103百万円(同31.5%増)、経常利益10,206百万円(同30.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益6,409百万円(同31.3%増)と増収増益を確保し、いずれも過去最高の業績となりました。

当社グループは、環境関連事業から構成される単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は97,786百万円と前連結会計年度末に比べ2,029百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が2,275百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が2,609百万円、長期預金が1,500百万円それぞれ増加したことによります。負債は16,426百万円と前連結会計年度末に比べ1,386百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が1,010百万円増加したことによります。純資産は81,360百万円と前連結会計年度末に比べ643百万円増加いたしました。これは主に自己株式の取得と消却等による自己株式の増加により1,526百万円減少したものの、利益獲得等により利益剰余金が1,516百万円、非支配株主持分が656百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月1日に公表しました連結業績予想から修正は起こっておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,852	31,577
受取手形及び売掛金	8,023	10,633
電子記録債権	893	939
有価証券	403	402
たな卸資産	1,862	1,682
その他	322	606
貸倒引当金	△6	△8
流動資産合計	45,351	45,833
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,439	10,351
機械装置及び運搬具（純額）	3,709	4,103
土地	24,154	24,338
建設仮勘定	584	825
その他（純額）	445	475
有形固定資産合計	39,334	40,094
無形固定資産		
のれん	343	286
その他	293	290
無形固定資産合計	637	577
投資その他の資産		
投資有価証券	8,338	7,632
長期預金	—	1,500
繰延税金資産	1,229	1,346
その他	871	804
貸倒引当金	△7	△1
投資その他の資産合計	10,433	11,281
固定資産合計	50,404	51,953
資産合計	95,756	97,786

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,542	3,263
電子記録債務	—	527
短期借入金	980	1,990
1年内返済予定の長期借入金	802	794
未払法人税等	1,850	1,751
賞与引当金	405	147
その他	3,288	4,331
流動負債合計	10,868	12,805
固定負債		
長期借入金	2,325	1,729
役員退職慰労引当金	8	8
退職給付に係る負債	1,065	1,141
その他	772	741
固定負債合計	4,170	3,620
負債合計	15,039	16,426
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,382	6,382
資本剰余金	7,147	7,070
利益剰余金	60,708	62,225
自己株式	△329	△1,856
株主資本合計	73,909	73,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83	157
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	83	157
非支配株主持分	6,724	7,380
純資産合計	80,717	81,360
負債純資産合計	95,756	97,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	38,704	43,420
売上原価	26,473	28,584
売上総利益	12,231	14,835
販売費及び一般管理費	4,549	4,732
営業利益	7,681	10,103
営業外収益		
受取利息	41	45
受取配当金	12	11
受取保険金	78	3
出資金運用益	7	—
その他	34	48
営業外収益合計	174	109
営業外費用		
支払利息	4	3
保険解約損	2	0
その他	0	2
営業外費用合計	6	6
経常利益	7,848	10,206
特別利益		
固定資産売却益	19	25
特別利益合計	19	25
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	30	38
減損損失	—	18
役員退職慰労金	339	—
特別損失合計	370	57
税金等調整前四半期純利益	7,497	10,174
法人税、住民税及び事業税	2,565	3,296
法人税等調整額	△244	△182
法人税等合計	2,321	3,114
四半期純利益	5,176	7,060
非支配株主に帰属する四半期純利益	297	651
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,879	6,409

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	5,176	7,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57	147
退職給付に係る調整額	4	2
その他の包括利益合計	61	149
四半期包括利益	5,237	7,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,907	6,483
非支配株主に係る四半期包括利益	329	726

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2021年10月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、2021年10月13日付で、自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、普通株式800,000株を取得しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が4,096百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2021年11月8日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を決議し、2021年11月18日付で600,000株の自己株式の消却を実施しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が87百万円、利益剰余金が2,495百万円及び自己株式が2,583百万円減少しております。